

## 平成 30 年度第 1 回血液検査機器技術委員会議事録

1. 開催日時：平成 30 年 4 月 6 日（金）15：00 ～16：30
2. 開催場所：ホテル日航奈良（百合）
3. 出席者：稲葉、久保田、常名、新保、内藤、土屋、政元、井上、川手、加藤、  
小林、近藤、長濱、斎藤憲、舟久保、遠見、竹中、中山、森、岩村、  
春日、三島  
オブザーバー参加：齋藤真（LSI メディエンス）、小松（エイアンドティー）  
欠席者：渡邊、金子、増田、藤巻
4. 議題
  - 1) 報告事項
    - (1) 新委員紹介
    - (2) 平成 29 年度第 2 回血液検査機器技術委員会議事録確認（資料 1）
    - (3) 第 7 回血液検査機器技術セミナー事後アンケート結果（資料 2）  
回答者が少ない。当日紙媒体で配布する方が良い。
    - (4) 学術委員長会議報告  
稲葉委員長より下記について報告があった。
      1. 生理検査委員会が来春新たに設置される予定である。
      2. 第 50 回大会の案内と記念交流会への参加呼び掛け
      3. 委員は年 1 回 COI 申告が必要なので未提出者は速やかに提出すること。  
新任委員は委嘱状と一緒に COI 申告書が届くので提出すること。
      4. 評議員資格を満たす委員は推薦するので、該当者があれば委員長まで連絡すること。
      5. 今後は委員会、学会等へは会員証持参し、参加登録すること。
      6. 編集委員会より今後各委員会へ学会誌への投稿依頼がある可能性もある。
  - 2) 審議事項
    - (1) 第 8 回血液検査機器技術セミナーについて（資料 3）
      - ① 日 時：平成 30 年 10 月 11 日（木）15:10～17:40
      - ② 会 場：神戸国際会議場 第IV会場（401 + 402）
      - ③ テーマ：「血球検査の品質保証」
      - ④ 担 当：政元委員、常名委員  
常名委員より資料 3 に基づき説明があった。座長は常名委員、政元委員が担当する。内容については特に意見はなかった。  
演者は全員会員、ポスター作成し周知する、資料は事前に HP に掲載し、当日各自に持参いただく。  
事後アンケートは当日配布する。

(2) 第9回血液検査機器技術セミナーについて (資料4)

① テーマ：「凝固検査の品質保証」

② 担 当：久保田委員、内藤委員

久保田委員より資料4により説明があった。

アンケートはISO取得施設に限定せず、第8回事後アンケートの中に入れて調査する。別途ISO取得施設対象のアンケートも実施する。半年前までには集計したい。

メーカーへの問い合わせ事項には凝固項目の測定上下限の設定、Lot間差、トレーサビリティ体系図、コントロールの測定頻度、試薬管理方法などがある。メーカー委員には問い合わせをプールしておいていただく。

講演4については各社の内容を1人がまとめて解説する。

講演2,3の演者はISO取得施設で凝固に詳しい方が良い。下仮屋技師(三重大)、由木技師(京都府立医大)、叶内技師(山形大学)が候補として挙げられた。

講演1,4の演者は委員で担当する。

金子先生へは稲葉委員長より講演依頼していただく。(金子先生承諾済)

(3) 第10回血液検査機器技術セミナーについて

① テーマ：

1) 前回から8年が経過し、新しい装置も発売されているので第2回セミナーで取り上げた各社血球計数装置の特性について再度取り上げるという意見が多く、第10回のテーマとすることとなった。

2) 画像解析技術の進歩についてファイリングや教育ツールも含めて取り上げるという意見もあり、これに関しては第11回以降に取り上げることとなった。会場でスマフォを使用して血液細胞のサーベイを実施しその場で回答してもらい集計結果を出して解説するといった回答する方法もあるとの意見があった。

3) 検討方法は前回のように同一検体で比較は困難であり、対象症例を指定して使用施設から報告していただく方法となった。

4) 各機器の使用施設はメーカーより情報を提供いただく。

5) 対象症例としてはAML、ALL、反応性リンパ球増加、血小板凝集などが挙げられた。

② 担 当：藤巻委員、井上委員にお願いすることとなった。(承諾済)

5. その他

委員長より富士レビオより委員会への参加希望があった旨、報告があった。

(文責：三島)